

宮田和明教授 略年譜・主要研究業績一覧

略歴・学歴・職歴

1 略歴

1937 年 6 月 5 日父宮田九一郎，母有米子の長男として，愛知県豊橋市新本町で出生

1964 年 小池光と結婚 長男尚志，次男隆志

2 学歴

1950 年 豊橋市立福岡小学校卒業

1953 年 豊橋市南部中学校卒業

1956 年 愛知県立時習館高等学校卒業

1961 年 名古屋大学経済学部卒業

1963 年 名古屋大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士）

1966 年 同上博士課程単位修得

1998 年 東洋大学より博士（社会福祉学）を授与される

3 職歴

1966 年 名古屋大学経済学部助手

1969 年 日本福祉大学社会福祉学部専任講師

1978 年 日本福祉大学社会福祉学部助教授

1979 年 社会科学研究所長（1980 年より大学院社会福祉学研究科長を兼務）

1983 年 日本福祉大学社会福祉学部教授

1991 年 日本福祉大学社会福祉学部長及び大学院研究科長を兼務

1993 年 日本福祉大学副学長（1999 年 3 月まで）

2003 年 日本福祉大学学長（2009 年 3 月まで）

2009 年 日本福祉大学名誉教授

4 社会的活動

土地制度史学会

日本社会福祉学会 理事，副会長（2001 年から 2004 年）を歴任

日本地域福祉学会

社会事業史学会

日本社会福祉教育学会 初代会長（2005 年から 2010 年）

日本社会事業学校連盟

社会福祉研究交流集会（1985 年の『危機シンポ』より）呼びかけ人

総合社会福祉研究所（1989 年より）理事を歴任

愛知県高齢者保健福祉計画策定検討委員会会長

社団法人日本社会福祉士養成校協会理事

愛知県福祉サービス第三者評価機関認証委員会委員長

名古屋市社会福祉審議会副会長 など

主要研究業績一覧

1 単独著書

『現代日本社会福祉政策論』ミネルヴァ書房，1996 年

2 編著

『社会福祉の人間の原理 現代福祉を哲学する』文理閣，1990 年（福田静夫）

『社会福祉と主体形成 90 年代の理論的課題』法律文化社（河合幸尾）

『転換の時代の社会福祉 日本の論点・イタリアの経験』文理閣，1996 年（福田静夫）

『戦後社会福祉の総括と 21 世紀への展望 思想と理論』ドメス出版，1998 年（阿部志郎，
右田紀久恵，松井二郎）

『国民生活と社会福祉政策』かもがわ出版，2001 年（唐鎌直義，河合克義，横山尋一）

『在宅高齢者の終末期ケア：全国訪問看護ステーション調査に学ぶ』中央法規出版，2004 年
（近藤克則，樋口京子）

『図説日本の社会福祉』法律文化社，2004 年（真田是，加藤園子，河合克義）

『現代の社会福祉入門』みらい，2006 年（木戸利秋，竹中哲夫，柿本誠）

『社会福祉実習』（初版から 5 版まで）中央法規出版，1991 年～2007 年（加藤幸雄，川田誉
音，米澤国吉，野口定久，柿本誠，丹羽典彦，小椋喜一郎）

『社会福祉専門職論』中央法規出版，2007 年（加藤幸雄，牧野忠康，柿本誠，小椋喜一郎）

3 学術論文（雑誌所収のもの）

『国家独占資本主義と「農業危機」「高度経済成長」下における「農業危機」の深化』『経済
科学』16 巻 1 号，1968 年

『農業危機の深化と過疎問題 丹後機業地帯における実態調査を中心に』『日本福祉大学研
究紀要』第 20・21 合併号，1972 年

『工場誘致と農村婦人の生活 過疎化の歯止めにはなったか（実態調査から）』『月刊福祉』
55 巻 11 号，1972 年

- 「社会事業の「政策論」的規定について 孝橋理論の批判的検討を中心に」『日本福祉大学研究紀要』第31/32号, 1977年
- 「社会福祉研究の戦後の動向」『日本福祉大学研究紀要』第36号, 1978年
- 「社会福祉教育の現状と課題 厚生省社会福祉教育問題検討委員会答申の検討を中心に」『科学とヒューマニズム』第11号, 1978年
- 「社会福祉教育の現状と課題について 京極高宣氏への反論」『月刊福祉』62巻4号, 1979年
- 「社会福祉の到達点と80年代の課題」日本福祉大学社会福祉学会編『福祉研究』第42号, 1980年
- 「社会福祉研究への問題提起「ゆたか福祉会」の実践をとおして」『賃金と社会保障』945号, 1986年
- 「社会福祉政策の動向と福祉の危機」日本福祉大学社会福祉学会編『福祉研究』第55号, 1987年
- 「戦後日本における社会福祉理論の展開 「政策論」を中心に」『社会事業史研究』第16号, 1987年
- 「社会福祉政策論研究の一視角 孝橋理論への批判と反批判の検討を中心に」名古屋大学経済学会『経済科学』第34巻4号, 1987年
- 「社会福祉戦後改革の今日的意義」『賃金と社会保障』第995号, 1988年
- 「社会福祉労働研究の今日的意義」『総合社会福祉研究』第3号, 1991年
- 「社会福祉 21世紀への課題」『日本福祉大学社会科学研究所年報』第6号, 1992年
- 「1990年代の政策動向と老人保健福祉計画」日本福祉大学社会福祉学会編『福祉研究』第70号, 1993年
- 「社会福祉理論研究の動向と課題」『社会福祉研究』第60号, 1994年
- 「在宅高齢者の看取り場所の希望と介護者の満足度に関連する要因の検討 終末期に向けてのケアマネジメントに関する全国訪問看護ステーションの調査から」『厚生指針』48巻13号(近藤克則, 樋口京子, 牧野忠康, 杉本浩章との共著)
- 「21世紀の社会福祉実践 何を守り, 何を切り拓くか」日本福祉大学社会福祉学会編『福祉研究』91号, 2002年
- 「戦後日本の社会福祉と日本福祉大学の50年」『社会福祉論集』第109号, 2003年
- ②1 「在宅療養高齢者の看取りを終えた介護者の満足度の関連要因 在宅ターミナルケアに関する全国訪問看護ステーション調査」から」『厚生指針』51巻3号, 2004年(島田千穂, 近藤克則, 樋口京子, 本郷澄子, 野中猛との共著)
- ②2 「社会福祉教育の現状と課題」『日本社会福祉教育学会誌』創刊号, 2007年
- ②3 「現代の生活問題と社会福祉 「格差社会」における社会福祉の役割」『社会福祉研究』102号, 2008年

- ②④ 「社会福祉の原点と実践の将来（みらい） もう一つの社会は可能だ」日本福祉大学社会福祉学会編『福祉研究』102号，2011年

4 学術論文（書籍所収のもの）

「都市近郊農村における戦後の農民層分解 一宮市周辺における実証的研究」塩沢君夫編『日本資本主義再生産構造統計』岩波書店，1973年

「社会福祉の現代的視点」高島進，高野史郎，小川利夫編『社会福祉を学ぶ』有斐閣，1977年

「「新政策論」論争」真田是編『戦後日本社会福祉論争』法律文化社，1979年

「国民生活と社会福祉」遠藤興一他著『社会福祉入門』有斐閣，1979年

「社会福祉の現状と展望」日本福祉大学社会科学研究所編『社会福祉の明日を』ミネルヴァ書房，1979年

「現代日本の社会福祉政策」高島進，池上惇編『講座 今日の日本資本主義 9巻』大月書店，1982年

「社会福祉教育の課題と方向」真田是編『現代日本の社会福祉』法律文化社，1982年

「社会福祉政策の現状と展望」日本福祉大学社会科学研究所編『続 社会福祉の明日を』ミネルヴァ書房，1985年

「社会福祉の危機の構造 社会保障・社会福祉の展望とその論理の検討を中心に」福田静夫，宮田和明編『社会福祉の人間の原理 現代福祉を哲学する』文理閣，1990年

「社会福祉理論研究の現代的課題 真田是教授の社会福祉理論の検討を中心に」宮田和明，河合幸尾編『社会福祉と主体形成 90年代の理論的課題』法律文化社，1991年

「社会保障制度『再構築』の方向と課題」福田静夫，宮田和明編『転換の時代の社会福祉 日本の論点・イタリアの経験』文理閣，1996年

「戦後社会福祉理論の形成と展開」阿部志郎，宮田和明，右田紀久恵，松井二郎編『講座 戦後社会福祉の総括と21世紀への展望（2）思想と理論』ドメス出版，2002年

「現代社会と社会福祉」「社会福祉の学習を深めるために」宮田和明，竹中哲夫，柿本誠，木戸利秋，山口みほ編『現代の社会福祉』みらい，2001年

「生活問題の再編と新展開」「高度経済成長期の社会福祉政策」真田是，唐鎌直義，宮田和明，河合克義編『国民生活と社会福祉政策』かもがわ出版，2002年

「在宅高齢者の終末期ケア：現状と課題」宮田和明，近藤克則，樋口京子編『在宅高齢者の終末期ケア：全国訪問看護ステーション調査に学ぶ』中央法規出版，2004年

「戦後社会福祉の政策研究と理論」一番ヶ瀬康子他編集『新版 社会保障・社会福祉事典』旬報社，2004年

「社会福祉学の課題と方法」「社会福祉の理論（日本）」『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版，2007年

「社会福祉政策の動向」真田是，宮田和明，加藤園子，河合克義編『図説日本の社会福祉』法律文化社，2004年

「どうして社会福祉は必要なの？」「社会福祉の学習を深めるために」宮田和明，木戸利秋，竹中哲夫，柿本誠編『現代の社会福祉入門』みらい，2004年

「5訂版刊行にあたって」宮田和明，加藤幸雄，野口定久，柿本誠，小椋喜一郎，丹羽典彦編『5訂 社会福祉実習』中央法規出版，2007年

- ②① 「社会福祉専門職論の課題」宮田和明，加藤幸雄，牧野忠康，柿本誠，小椋喜一郎編『社会福祉専門職論』ミネルヴァ書房，2007年

5 学会発表

「尾西機業地帯における兼業化と農民層分解」土地制度史学会，1965年

「過疎地帯における農業問題 農業構造改善事業の一事例の検討を中心として」日本福祉大学社会福祉学会，1970年

「豊田市老人福祉事例調査 東海地域の社会経済構造分析の一環として」日本社会福祉学会，1980年

「日本社会事業成立期研究の方法 社会事業理論史研究の一環として」日本社会福祉学会，1981年

「社会福祉教育基礎調査（1）社会福祉専攻学生の現状」「社会福祉教育基礎調査（2）大学院における社会福祉教育の現状と課題」日本社会福祉学会，1983年

「日本社会事業理論史の研究 その3 生江孝之について 社会事業成立期における理論形成の端緒」日本社会福祉学会，1984年

「社会福祉制度改革の到達点と残された課題」日本社会福祉学会，1992年

「広域方式・単独方式の介護保険運営と地域福祉（1，2）」日本地域福祉学会，2000年

「在宅ターミナルケアに関する全国訪問看護ステーション調査（その1，その2）」日本老年社会科学学会，2000年

「介護者の看取り場所の希望と満足度に関する研究 在宅高齢者のターミナルケアに関する全国訪問看護ステーション調査から」日本社会福祉学会，2000年

「介護保険事業の政策評価の方法と結果」日本社会福祉学会，2002年

「終末期ケアにおけるケアマネジメント」日本社会福祉学会，2003年

「社会福祉教育の現状と課題」日本社会福祉教育学会，2005年

「専門職養成教育としての社会福祉教育の特色」日本社会福祉教育学会，2006年

6 調査報告（社会福祉関連を中心に）

「スモン患者の生活と福祉（その3）」厚生省特定疾患スモン調査研究班編『平成7年度調査報告書』1996年（秦安雄，大野勇夫，若松利昭，加藤孝正との共著）

「スモン患者の介護問題に関する調査報告（その1）」厚生省特定疾患スモン調査研究班編
『平成9年度調査報告書』1998年（秦安雄，大野勇夫，若松利昭，伊藤葉子との共著）
「スモン患者の介護問題に関する調査報告（その2）」厚生省特定疾患スモン調査研究班編
『平成10年度調査報告書』1999年（秦安雄，大野勇夫，若松利昭，伊藤葉子との共著）
「スモン患者の介護問題と福祉」厚生省スモンに関する調査研究班『平成11年度調査報告書』
2000年（秦安雄，大野勇夫，若松利昭，伊藤葉子，小野由美子との共著）
「介護保険事業と広域連合」『基礎自治体（広域型・単独型）における介護保険制度の効率的
運用と政策選択の評価基準に関する研究報告書』2000年
「スモン患者の介護問題と福祉」『厚生科学研究費補助金スモンに関する調査研究班『平成19
年度総括・分担研究報告書』2008年（秦安雄，大野勇夫，若松利昭，伊藤葉子，林宏二と
の共著）

7 事典編集

『新版 社会保障・社会福祉大事典』旬報社，2004年
（一番ヶ瀬康子，井上英夫，岩田正美，植田 章，大谷藤郎，大友信勝，唐鎌直義，河合克義，
河野正輝，里見賢治，中田照子，萩原康生，早川和男，保母武彦，牧里每治，松村祥子，相
野谷安孝との編集）
『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版，2007年
（仲村優一，一番ヶ瀬康子，右田紀久恵，岡本民夫，田端光美，濱野一郎，古川孝順との編
集）

8 翻訳

J.H. ガルパー著『変革の社会福祉』ミネルヴァ書房，1980年（右田紀久恵，井岡勉）

*掲載にあたっては，基本的に宮田和明教授が生前に発表された論文，著書（編著），学会発表，
調査報告，事典編集，翻訳における主要な業績を抽出しました．主要な業績という観点から，
インタビュー，座談会，新聞評論，シンポジウムなどの報告は割愛しています．本業績リスト
を作成するにあたって，日本福祉大学研究課のスタッフのみなさんに多大な協力を得ました，
記して感謝いたします．

（伊藤文人）